

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：学校建設費

事業名 特別支援学校設置基準対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育財務課 施設第二係 電話番号：058-272-1111(内8574)

E-mail：c17773@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,227 千円 (前年度予算額：26,342 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	26,342	0	0	0	0	0	0	0	26,342
要求額	23,227	0	0	0	0	0	0	17,000	6,227
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・これまで特別支援学校の児童生徒数は増加傾向が続き、岐阜県の実施した「新子どもかがやきプラン」において特別支援学校が新たに整備されたが、学校によって教室数が不足する状況である。
- ・文部科学省が令和3年9月に公布した特別支援学校設置基準において、校舎と運動場の基準面積等が示されることとなり、保有する校舎面積に対して児童生徒の人数が多い学校においては、基準を満たさない状況となっている。
- ・岐阜本巣特別支援学校は、児童生徒の入学状況や地域の実情などを踏まえながら段階的に整備することとし、開校時は学校の運営上必須となる各棟の2階までを整備したが、児童生徒数の増加に伴い、平成31年北館棟3、4階を改修したものの、校舎面積は令和5年5月1日時点で193㎡不足と基準面積に満たない状況である。
- ・これ以上特別教室の転用等が困難な状況であるため、未改修の南館棟3、4階や1、2階の狭隘教室の改修により、学習環境を整備し、設置基準を満たすことが急務である。

(2) 事業内容

- ・特別支援学校設置基準を満たし、教室数不足等を解消するための学習環境の整備を行う。
- ・岐阜本巣特別支援学校の校舎面積不足を解消するため、既存の南館棟の未改修部分を活用した改修を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県立学校のため県負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	23,227	岐阜本巣特別支援学校校舎改修実施設計等
合計	23,227	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「新子どもかがやきプラン」（平成29年3月策定）に基づいた、アクションプラン2023において、重点施策2「障がいのある児童生徒のニーズに対応した学びの場を整備」に位置付けられている。

(2) 国・他県の状況

- 令和3年9月に特別支援学校設置基準が公布され、校舎面積や運動場面積について設置基準を満たさない状態にならないこと、水準の向上を図ることに努めなければならないこととしている。他の都道府県においても設置基準の集中取組計画を策定して設置基準に基づく整備に取り組んでいる。

(3) 後年度の財政負担

令和7～8年度 改修工事 542,289千円

(4) 事業主体及びその妥当性

- 国の公布した設置基準を満たし、特別支援学校に通学する児童生徒の教育の質の向上を図ることとなるため、妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年度までに未改修の岐阜本巣特別支援学校南館棟3、4階の未改修部分を活用し、普通教室、特別教室等の整備を行い、また、南館棟1、2階の狭隘教室の拡幅により、学習環境の改善を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

1つの学校の施設整備であり、指標を設定することは適切でない

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜本巣特別支援学校の基本計画策定。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 実施設計の策定。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 改修工事
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>岐阜本巣特別支援学校は平成29年度の改修整備後も、児童生徒数の増加が続いている。狭隘化の解消及び、適切な学習環境を保障するために、校舎等の改修整備を行う必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 岐阜本巣特別支援学校の改修整備を行うにあたり、平成21年度の改修整備において、未改修とした施設設備の老朽化対策も含めた改修整備が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和7年度中の工事完了に向け、計画に基づいて、実施設計、改修工事を進める必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	